

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災情報通信システム設備更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 危機管理政策課 防災情報管理係 電話番号：058-272-1111(内2818)

E-mail : c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費

11,234 千円 (前年度予算額： 3,165 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	3,165	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,234	0	0	0	0	0	0	11,234
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県防災情報通信システム（以下「システム」という。）の整備拠点には、商用電源が停電した際にシステム継続運用及びシステム機器保護のために電力が安定して供給されるようU P S（全138台。内、使用者にて交換が可能なものは136台）が整備されている。

使用開始から8年が経過し、メーカーの交換推奨である2～3年（使用環境により変わる）を超過していることから、劣化が確認されたバッテリーから順次交換する必要がある。

(2) 事業内容

防災情報通信システムの安定運用のため、令和7年度の点検で劣化が確認されたU P S 21台分のバッテリーを購入する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10(県の設備であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細			
需用費 (消耗品費)	10,828	新UPSバッテリー (126個) 購入費 ※UPS21台分			
		THA1000-BP1 13個×	60500 円×1.1=	865,150 円	
		THA1500-BP1 2個×	90750 円×1.1=	199,650 円	
		THA3000R-BP1 12個×	90750 円×1.1=	1,197,900 円	
役務費	406	THA5000R-BP1 99個×	78650 円×1.1=	8,564,985 円	
		旧UPSバッテリー (126個) 処分費 ※UPS21台分			
		THA1000-BP1 13個×	2300 円×1.1=	32,890 円	
		THA1500-BP1 2個×	3000 円×1.1=	6,600 円	
合計	11,234	THA3000R-BP1 12個×	3000 円×1.1=	39,600 円	
		THA5000R-BP1 99個×	3000 円×1.1=	326,700 円	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地域防災計画（一般対策計画 第2章 災害予防）

県、市町村等は、防災に関する情報の収集、伝達等の迅速化を図るため、集落、市町村、県、防災関係機関相互間における情報連絡網の整備を図るとともに、有線通信が途絶した場合でも通信を確保するため、無線通信施設等を整備し、その機能の充実と交信範囲の充実及び信頼性の向上に努めるとともに、万一これら施設に被害が発生した場合に備え、非常電源、予備機等の設置に努め通信連絡機能の維持を図るものとする。

(2) 国・他県の状況

サーバー等の重要設備を保有している施設のうち、施設全体で停電対策が取られていない場合には、停電等によるシステムダウンが起きないよう設備個別に必ず整備されるものである。

(3) 後年度の財政負担

毎年実施する点検により劣化が確認された数量分のUPSバッテリーを翌年度予算にて更新する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県備品であり、県が行うのが妥当。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

防災情報通信システム整備拠点で令和7年度の点検で劣化が確認されたUPSバッテリーを令和8年度に更新し、災害時においても継続してシステムの正常運用ができる状態とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①バッテリー 更新(毎年度)					100	100%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令 和 3 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令 和 6 年 度	前年度に劣化が確認されたバッテリー26個を購入し、交換を行った。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	防災情報通信システムは非常時にも使用できる必要があるため、劣化が確認されたバッテリーは更新しなければならない。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

バッテリーは使用することで劣化するものであるため周期的に更新していく必要がある。

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
- 毎年実施する防災情報通信システム機器の点検結果により、劣化が確認されたものについて更新していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<input type="text"/> 【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	<input type="text"/>